



議会だより



平成 21 年  
8 月 20 日発行

# 55 臨時号

発行：宮津市議会  
編集：議会情報化等特別委員会  
TEL 0772-22-2121  
http://www.city.miyazu.kyoto.jp

7 月臨時会のうらみ  
7 月臨時会は、7 月 27 日から 31 日までの 5 日間にわたり開催されました。  
初日に、総額 2 億 3 99 万円の補正予算の提案があり、本会議での質疑の後、各常任委員会で審査を行い、最終日の本会議で可決されました。

## 7 月補正予算

総額 2 億 3 9 9 万円

### 主な内容

#### 国の補正予算に係る事業

子育て応援特別手当の支給に 1,859 万円

#### 地域活性化・経済危機対策臨時交付金充当事業

吉津保育園の乳児室等の増築に 1,231 万円

農道、水路等の改修に 2,650 万円

ハイブリッド車等環境配慮型の公用車の導入に 880 万円

小学校施設の耐震化に 2,800 万円

#### その他

竹資源バイオマスエネルギー化調査に 1,000 万円

農産物等直売所の追加整備等に 1,564 万円

阿蘇海の水質改善に 841 万円

環境配慮型の福祉バスの導入に 920 万円

宮津城の城壁復元、能・丹後物狂、府中小土塀風擁壁の整備に 4,365 万円

### 補正予算審査 Q & A

7 月 28 日、各常任委員会で補正予算の審査を行いました。その概要は次のとおりです。

**意見**: 委員会が市に出した意見

**経過意見**: 審査の過程で委員から出た意見

#### 総務委員会

自治会に報奨金

300 万円

8 月 1 日以降に住宅用火災警報器の共同購入等を行った自治会等に対して報奨金を交付するもの。

府中小学校土塀風擁壁の整備

1700 万円

に 補助率とその根拠は?

A 宮津市の知名度向上と認められる事業であり、内規の市長特認の 10 分の 10 の補助率と考えている。

#### 意見

補助金申請事業審査会の審査を尊重し、補助が適当となった事業を予算計上するべきだ。基金運用は公平公正に。

竹資源バイオマスエネルギー化調査に 1000 万円

未活用の竹資源を発電のためのバイオマスエネルギーとらえ、事業化に向け検討するもの。  
Q 竹資源の発電が可能となった場合の将来構想は?

A 竹を使った商品生産工場に電気の供給ができれば有効活用できると考えている。

Q 調査・検討は民間でするべきだ。なぜ市がするのか?

A 脱化石燃料の観点から、まず行政が専門家に事業化可能性調査を依頼し検討したい。

**経過意見**

積極的に民間活力を利用するべきだ。

阿蘇海の水質改善に

841万円

須津地区の20m水路にF

FC特殊改質資材を散布、その改善効果を検証するもの。

FCCとは・・・?

「水溶性「量体鉄塩」の意味で、水に溶かすと水の抗酸化機能が向上するといわれている。

小学校施設耐震化に

2800万円

宮津小体育館の改築と、上

宮津・栗田小体育館と栗田小学校舎の耐震補強の実施設計費。

**厚生委員会**

吉津保育園の乳児室等増築に

1231万円

乳児の保育環境の向上を図るため、乳児室2室、トイレ、調乳・沐浴スペースを増築するもの。

Q 乳幼児の受け入れ状況は？

A 現在は7名だが、年度末までに更に10名程の入所があると考える。今回の増築で約20名の保育スペースができる。

子育て応援特別手当の支給に

1859万円

平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた子供全員に、一人当たり3万6千円を支給するもの。対象児童数は約450人。

女性特有のがん検診の実施に

440万円

子宮頸がん・乳がんの早期発見と検診の必要性を認識してもらつたため、節目の年齢子宮頸がんは20・25・30・40歳、乳がんは40・45・50・55・60歳)の方に、検診手帳と無料受診券を配付して、受診勧奨を行うもの。

Q 受診対象年齢を決めた根拠は？

A 子宮頸がんは20歳から30歳代で急増しており、乳がんは40歳から50歳代が最も多いため、この制度を利用して多くの方に受診してほしい。

**経過意見**

検診の必要性を広報して、受診率向上に努められたい。

みやつ作業所の水洗化工事に

370万円

**産業建設委員会**

八幡児童遊園等の整備に

500万円

農産物等直売所の追加整備等に

1564万円

Q 当初予算の2.5倍もの補正予算の内容は？

A 有利な補助金が確保でき、景観に配慮したデザイン、地元間伐材を利用した商品棚、高齢者に配慮した自動ドアの導入など整備内容を変更した。後年度のリース料の軽減のため、付帯設備の経費を初年度に計上したので事業費が増大した。

Q 建設でなく、リース方式にする理由は？

A 浜町地区活性化構想を現在検討中で、直売所を運営しながら今後の動向を見極めることとしてリース方式とした。

Q 運営主体の協議会もまだ仮称で、内容等も決定していない中で予算計上はいいかがか？

A 細部の決定していない部分もあるが、関係者と協議を進め、事業化の目途がついたから予算計上した。

Q 直売所の常設により、卸売市場、公設市場との間で消費者が分散するのではないか？

A それぞれ営業時間も対象者も異なる。直売所の常設により、来客数の増加や農業者の経営範囲の拡大が期待され、地域の活性化にもつながると考える。

**経過意見**

運営協議会が正式に発足していない中で予算計上で、関係者と十分な協議の下に進められたい。

**意見**

卸売市場、公設市場や商業施設との融合を図り、今後の経営の発展を促す施設として活用されたい。

新型インフルエンザの風評被害対策に

300万円

観光入り込み客数の回復や増加を図るために実施される観光PRキャンペーンを支援するもの。

**経過意見**

新型インフルエンザの風評被害と天候不順で観光客が減少しているため、十分なPRに努められたい。

**あとがき**

残暑お見舞い申し上げます。  
議会だより「臨時号」を発行することにしました。  
今回の臨時号は、国の補正予算と地域活性化・経済危機対策臨時交付金等による事業補正に伴う臨時議会の「議会だより」です。  
臨時交付金による事業は、今後も決定されたものから予算・事業化されます。  
例年より短い夏ですが、観光・稲作にお日様の挽回を期待しましょう。

